

三井住友アセットマネジメント株式会社 営業企画部  
東京都港区愛宕 2-5-1 愛宕グリーンヒルズ MORI タワー 28 階 〒105-6228  
Tel. 03-5405-0555 Fax. 03-5405-0666 <http://www.smam-jp.com>

## フィデューシャリー・アクションプランの実施状況について ～第1回報告～

三井住友アセットマネジメント株式会社（SMAM：Sumitomo Mitsui Asset Management 代表取締役社長 横山 邦男）は、2015年8月27日に公表した「フィデューシャリー・デューティー（FD）宣言」の具体的な施策である「フィデューシャリー・アクションプラン」の実施状況を下記のとおり、報告いたします。

SMAMは、同アクションプランの着実な実行を通じて、お客さまに最高品質の資産運用サービスを提供し、「運用責任を全う」します。

### 記

フィデューシャリー・アクションプラン（全35項目）は概ね順調に進捗しております。次ページ以降で、各分野の取組みの概要と個別の実施内容を報告いたします。

なお、「FD第三者委員会」（注）の取組みにつきましては、本日付プレスリリース「FD第三者委員会の活動状況について」をご覧ください。

注：「FD第三者委員会」は、利益相反関係等、フィデューシャリー・デューティー全般のチェックを目的として設置した委員会です（2015年10月より四半期開催）。同委員会は、フィデューシャリー・アクションプランの一項目ですが、第三者による提言とそれらに対する当社の対応という観点で、他のアクションプランとは位置づけが異なることから、別建てでプレスリリースを公表しています。

## ～運用～

運用技術を駆使してお客さまの資産形成に貢献するため、日本株運用をはじめとする運用体制の強化、拡充を進めています。また、自社資金を活用した各種の新規ファンドを順次開発し、運用を開始しています。

更に、資産運用の圧倒的高度化を実現するため、国立情報学研究所（NII）と共同で「金融スマートデータ研究センター」を設置しました。（「～経営インフラ～」欄に記載）

### 日本株アクティブ運用を中心に運用人材を大幅に増強中です

お客さまに一層ご満足いただける運用成果をお届けするため、質の高い人材の採用活動を積極的に実施しています。日本株アクティブ運用の運用者は2015年3月末の27名から34名（2016年2月末）に増強しました。

### 日本版スチュワードシップコードの受け入れを表明し、長期投資のための株式リサーチ体制の強化を順次、進めています

投資先企業の持続的な企業価値向上をサポートし、株式運用によるリターンを一層高めるため、全アナリスト（20名）が投資先企業と経営に関する対話（深い対話）を開始しました。体制面では、スチュワードシップ活動の担当者を拡充するとともに、アナリストの評価において長期分析の観点を重視し、リサーチ力の強化を図っています。

### 企業との目的を持った対話活動を進め、エンゲージメント投資を開始します

エンゲージメント投資専門の運用会社である「みさき投資株式会社」に派遣した人材を中心にエンゲージメント投資の準備チームを立ち上げました。中長期的に価値向上が見込まれる企業を発掘し、潜在価値を引き出すことで高い運用成果を目指すエンゲージメント専用ファンドを2016年3月に設定する予定です。また、4月に当該準備チームを当ファンドの運用に特化する「エンゲージメント運用グループ」として組織化することを決定しました。

### 特に、社会の発展に資するSRI、ESG投資に積極的に取り組みます

お客さまの資産形成と社会への貢献のため、ESG（環境、社会、企業統治）に積極的に取り組む安定した成長企業を発掘する本格的なESG投資の準備を進めています。ESGの要素を積極的に活用する専用ファンドを2016年3月に設定する予定です。

### 社会資本形成に資する長期投資の機会を提供するためインフラ投資を拡充します

2015年4月に専門組織を立ち上げ、インフラ投資のノウハウを持つ海外有力先と提携し、グローバルにインフラ・ファンドを発掘して年金や機関投資家のお客さまにご案内しています。

### アジア株運用の中心拠点を香港に移し、グローバル競争力のある運用体制を構築します

アジア株運用の中心拠点である香港子会社を、トレーディングや営業機能も兼ね備えたフルライン化の方針を決定しました。運用担当者を拡充し、香港ならではの鮮度の高い情報を活用して運用機能を一層強化します。

**充実した海外ネットワークを活用し、グローバル債券運用を拡充します**

欧米に配置したエコノミスト・アナリストの分析を活用し、海外社債ファンドの運用を高度化しています。また、モーゲージ債や金利スワップ、CDS等の活用も図っております。

**自社資金を活用し、新規ファンドの開発を積極的に行います**

日本株をはじめ、グローバル債券、マルチアセット（複数資産）等の新規ファンドを順次開発し、自社資金を投入して運用を開始しております。今後も、お客さまの資産形成に資する長期投資型の日本株ファンド等の開発を積極的に進めていきます。

**トレーディング機能を高度化し、取引執行コストを縮減します**

内外株式の電子取引の拡大を進める等、各種手法により取引執行コストの縮減を進めています。

## ～商品開発～

お客さまにご納得いただける合理的な手数料を設定するため、その第一歩として、運用報酬の設定に関する基本的な考え方をまとめた「運用報酬に関する基本方針」を策定、公表しました。同方針に従い、運用報酬の設定を順次、行ってまいります。

また、2015年4月に子会社化した日興グローバルラップ社と協働し、同社の資産配分ノウハウを活用した新商品を順次開発し、ご提供しています。今後も、運用会社としてお客さまのニーズを的確に捉えた商品開発を進めてまいります。

### 商品企画に特化した専門部署を新設し、商品開発基本方針を策定しました

実施済

### お客さまニーズにきめ細かく対応するため、商品開発プロセスの見直しを行いました

実施済

当社が運用会社として主体的にお客さまのニーズを捉え、商品開発を行うよう商品開発プロセスを見直し済です。また、お客さまの目線で商品コンセプトや運用プロセスをわかりやすくまとめた「商品基準書」の作成を2016年1月より開始しました。今後「商品基準書」に基づいたお客さま向け説明資料の作成を順次、進めてまいります。

### お客さまにご納得いただけるよう、信託報酬基本方針を策定します

当社の運用報酬設定に関する基本的な考え方をお客さまに広くご理解いただけるよう、「運用報酬に関する基本方針」を2015年9月に策定、公表しました。

詳細は下記リンク先のプレスリリースをご覧ください。

[http://www.smam-jp.com/news/news/pdf/\\_icsFiles/afieldfile/2015/09/30/kihonhoushin\\_20150930\\_1.pdf](http://www.smam-jp.com/news/news/pdf/_icsFiles/afieldfile/2015/09/30/kihonhoushin_20150930_1.pdf)

### グローバル水準の商品の品揃えのため、海外運用会社の調査と商品開発のラインを一本化しました

実施済

### 日興グローバルラップ社を買収し、海外運用会社の調査機能を大幅に拡充しました

実施済

### 日興グローバルラップ社と協働し、先端分野・新分野の商品開発を行っています

2015年4月に子会社化した日興グローバルラップ社が持つ豊富な資産配分ノウハウを活用し、4月に世界の株式、債券、リートに分散投資する投資信託「らっぷちゃん」の募集を開始。更に、イノベーションや社会経済の構造変化を捉えて成長し次世代のリーダーとして期待される世界企業に分散投資する投資信託「ネクストリーダーズ」を共同開発し、11月に募集を開始しました。

### ESG運用を組み入れた長期投資向けのプロダクトを開発します

「～運用～」欄に記載のとおり、2016年3月に実施予定。

## ～お客さまサービス～

お客さまのお役に立つ適切な情報をご提供するため、主として資産形成初心者の皆さま向けに、わかりやすい資料やツールを充実させた「ビギナーズパック」を作成し、販売会社の皆さまとともに各種セミナーやイベントを展開しています。

あわせて、お客さま向け資料を全てのお客さまにとって読みやすく、わかりやすいものにするため、交付目論見書、交付運用報告書についてユニバーサルデザインに配慮した書面への全面改訂を開始しました。

また、お客さまのニーズに合致した的確なご説明やサービスのご提供を徹底するため、日々のお客さまサービス活動について営業担当以外の部署がチェックするしくみを導入しました。

### インターネットによる公募投信の直接販売を開始しました

実施済

### 投資初心者の方のため、コミックス「インベスターZ」を使ったわかりやすい解説書の作成を開始しました

実施中

### 投資初心者の方の資産形成にお役に立つ投資啓蒙活動を推進します

資産形成初心者の皆さまに資産形成を始める「きっかけ」として頂くため、コミックス「インベスターZ」のキャラクターを使ったわかりやすい解説書やカードゲームなどのツールを充実させた「ビギナーズパック」を2015年10月に作成し、販売会社さまとともに各種セミナーやイベントを展開しています。なお、「ビギナーズパック」には当社商品の宣伝資料は一切含んでおりません。

### お客さまの金融リテラシー向上をお手伝いさせて頂くとともに当社商品を一層ご理解いただけるよう資産運用サポート部を設置しました

実施済

### お客さまのご理解のため、信託報酬等の手数料差引後の収益率イメージの明示を順次、進めてまいります

新商品のご説明において、お客さまにシミュレーション等による収益率をお示しする場合にも、お客さまにご負担頂く信託報酬等を差引いた値とするよう順次対応しております。

### ユニバーサルデザインによるわかりやすい目論見書、報告書の作成を開始します

お客さま向け資料を全てのお客さまにとって読みやすく、わかりやすいものにするため、交付目論見書および交付運用報告書について、ユニバーサルデザインに配慮した書面への全面改訂を2015年12月より開始しました。

詳細は下記リンク先のプレスリリースをご覧ください。

[http://www.smam-jp.com/news/news/pdf/\\_icsFiles/afieldfile/2015/12/08/PressRelease\\_20151208\\_1.pdf](http://www.smam-jp.com/news/news/pdf/_icsFiles/afieldfile/2015/12/08/PressRelease_20151208_1.pdf)

**日々のお客さまサービスについてのプロセス検証・管理を強化します**

お客さまのニーズをきめ細かく把握し、ニーズに合致した的確なご説明やサービスのご提供を徹底するため、2016年1月より、日々のお客さまサービス活動について営業担当以外の部署がチェックするしくみを導入しました。

**わかりやすく使いやすいホームページに改訂します**

当初予定：2016年3月→ 2016年4月実施予定

**ホームページ上での運用担当者による運用状況の動画説明を開始します**

当初予定：2016年度→ 2016年4月実施予定

**お客さまの声を直接うかがい、継続的なサービス改善に努めます**

実施中

## ～経営インフラ～

永続的なコスト削減を実現し運用報酬の引き下げに繋げるため、投資信託のミドル・バック業務のアウトソーシング方針を決定しました。

また、資産運用の圧倒的高度化を実現するため、ビッグデータの研究、活用による情報学分野で国内唯一の学術総合研究所である国立情報学研究所（NII）と共同で「金融スマートデータ研究センター」を設置し、本格的な研究開発を開始しました。

品質改善と透明性を確保するため、フィデューシャリー・デューティー全般をチェックする「FD第三者委員会」を立ち上げ、外部有識者からの提言を踏まえた改善活動を実施中です。内部統制においては、全役職員がFD宣言に基づく「自主的な行動」で「運用責任を全うする」ため、当社の最上位規程としてFD宣言の方針を盛り込んだ「基本規程」を制定しました。

### お客さまへのよりわかりやすい情報提供、および運用とリスク管理の高度化に向けたシステム開発を開始しました

実施中

### コスト削減による信託報酬の引き下げを目的として、システムの抜本的な見直しに着手しました

永続的なコスト削減を実現し運用報酬の引き下げに繋げるため、投資信託のミドル・バック業務のアウトソーシング方針を決定しました。詳細については別途、報告いたします。

### 高度専門人材の採用を可能とする人材報酬体系を構築しました

実施済

### 内部統制レベルの向上に向け、業務全般の見直しに着手しました

全役職員がFD宣言に基づく「自主的な行動」で「運用責任を全うする」ため、当社の最上位規程としてFD宣言の方針を盛り込んだ「基本規程」を2016年2月に制定しました。今後、「基本規程」を踏まえ、全部署の業務マニュアルの見直しを行います。（実施時期：2016年6月）

### 産学連携によるビッグデータなど先端分野の研究に向け検討を開始しました

ビッグデータの研究、活用による資産運用の圧倒的高度化を実現するため、情報学分野で国内唯一の学術総合研究所である国立情報学研究所（NII）と共同で「金融スマートデータ研究センター」を2016年2月に設置しました。当社とNIIは2019年3月末までの期間、共同研究に取り組みます。詳細は下記リンク先のプレスリリースをご覧ください。

[http://www.smam-jp.com/news/news/pdf/\\_icsFiles/afieldfile/2016/02/09/F20160209.pdf](http://www.smam-jp.com/news/news/pdf/_icsFiles/afieldfile/2016/02/09/F20160209.pdf)

**利益相反関係等、フィデューシャリー・デューティー全般をチェックする第三者機関のしくみを導入します**

当社は2015年10月に「FD第三者委員会」を立ち上げ、外部有識者からの提言を踏まえた改善活動を実施しています。

FD第三者委員会の活動状況については、本日付プレスリリース「FD第三者委員会の活動状況について」をご覧ください。

**社外役員の独立性を確保します**

2016年度

**お客さま向けに当社オフィスツアーを開催し、運用プロセスの見える化を図ります**

当初予定：2016年3月→ 2016年4月実施予定

**フィデューシャリー・アクションプランの実施状況を半年ごとに公表いたします**

実施済（本件報告）

**【三井住友アセットマネジメント株式会社について】**

本社：〒105-6228 東京都港区愛宕二丁目5番1号 愛宕グリーンヒルズ MORI タワー 28階

代表者：代表取締役社長兼 CEO 横山 邦男

資本金：20億円

Tel: 03-5405-0555

Fax: 03-5405-0666

URL: <http://www.smam-jp.com/>

事業内容：

- (1) 投資運用業に係る業務
- (2) 投資助言・代理業に係る業務
- (3) 第二種金融商品取引業に係る業務

以上

本件に関するお問い合わせ先

三井住友アセットマネジメント株式会社

営業企画部

前橋 Tel.03-5405-0212

木村 Tel.03-5405-3209

三井住友アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、

一般社団法人第二種金融商品取引業協会